

第4節

子どもの進学に対する期待

母親は女子より男子に大学卒業以上の学歴を期待している。また、「高校卒業の母親」より「大学卒業の母親」のほうが子どもに対して、大学卒業以上の学歴を期待しており、その差がますます開いている。

● 子どもに大学卒業以上の学歴を望む母親の比率が若干回復している

図2-4-1は子どもの進学に対する母親の期待をたずねた結果である。大学卒業以上の学歴（「大学卒業まで」＋「大学院卒業まで」、以下同様）を望む母親の比率は、95年では72.2%だった。しかし、00年では7.6ポイントも下がり、64.6%まで落ち込んだ。05年では67.0%となり、若干回復している。

● 子どもの性別・母親の学歴による差

子どもの進学に対する母親の期待について、子どもの性別による差があるかどうかをみてみたい（図2-4-2）。

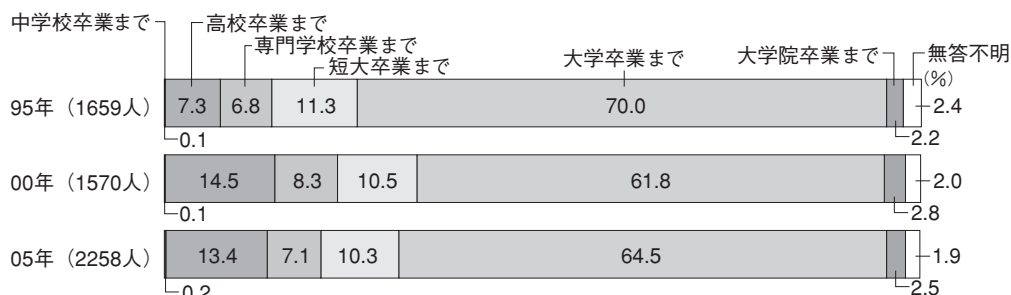
大学卒業以上の学歴を望むのは、95年では、男子が85.5%に対して、女子は58.0%だった。00年では、男子が77.0%に対して、女子は51.6%だった。05年では、男子が79.8%に対して、女子は53.7%である。

ここで、2つの点に注目したい。1つは、母親が男子の進学に対する期待（「大学卒業まで」＋「大学院卒業まで」）が女子より高いことである。もう1つはこの10年間で、子どもの性別による学歴期待の差が縮まっていないことである（性別による差では、95年が27.5ポイント、00年が25.4ポイント、05年が26.1ポイント）。社会での性役割が確実に変わってきたにもかかわらず、母親の男子に対する学歴期待と女子に対する学歴期待は変化していない。

次に、母親の学歴別の分析を行いたい（図2-4-3）。ここでは、「中学校」「高等学校」「専門学校」を卒業した母親を「高校卒業の母親」、「高等専門学校」「短期大学」「四年制大学」「大学院（六年制大学を含む）」を卒業した母親を「大学卒業の母親」と表す。

この10年間、子どもに大学卒業以上の学歴を望む母親の比率をみると、「高校卒業の母親」では、95年61.2%→00年51.0%→05年52.3%と数値が推移している。その一方で、

■図2-4-1 子どもの進学に対する期待（10年比較）

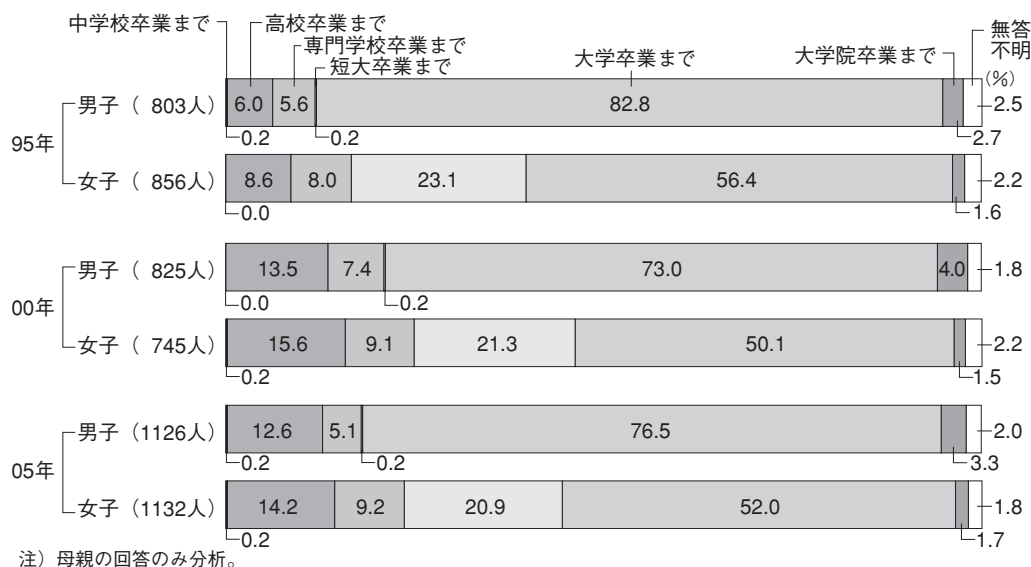


注) 母親の回答のみ分析。

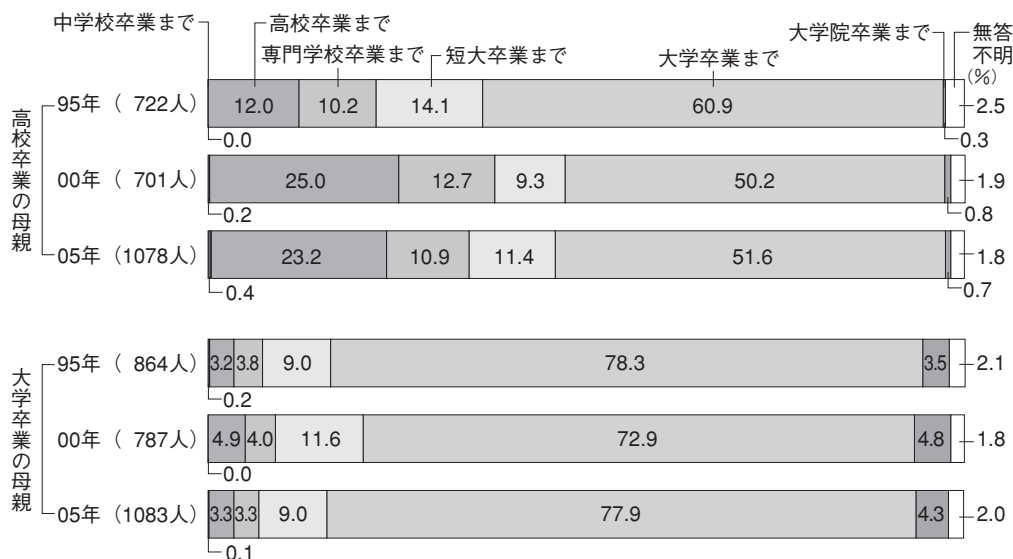
「大学卒業の母親」では、95年81.8%→00年77.7%→05年82.2%である。「大学卒業の母親」は「高校卒業の母親」より子どもに対して、大学卒業以上の学歴を期待している。両者の間の差は、95年20.6ポイント→00年26.7ポイント→05年29.9ポイントと、ますます開いて

いる。さらに前述した通り、05年に子どもに大学卒業以上の学歴を期待する比率が若干回復していることを母親の学歴別にみると、比率が回復しているのは「大学卒業の母親」であって、「高校卒業の母親」の比率はほとんど変わらないことがわかる。

■図2-4-2 子どもの進学に対する期待（子どもの性別 10年比較）



■図2-4-3 子どもの進学に対する期待（母親の学歴別 10年比較）



注1) 母親の回答のみ分析。

注2) 「高校卒業の母親」は「中学校」「高等学校」「専門学校」を卒業した人、「大学卒業の母親」は「高等専門学校」「短期大学」「四年制大学」「大学院（六年制大学を含む）」を卒業した人を表す。